

## 【選考理由書】

組織名称：東芝エレベータ株式会社

業種：製造業（昇降機の開発・販売・据付工事・保守・改修）

従業員数：約 5,300 名（連結約 12,000 名）

認証取得：ISO 9001（1994 年）、ISO 14001（1998 年）、OHSAS 18001（2007 年）

### 1. 事業特性

エレベータの開発、製造、販売、据付・工事、保守・監視・改修、リニューアルの事業並びにセキュリティなどの総合管理を実施している。主な顧客はゼネコン、ビル管理会社、ビル管理組合、利用者など。海外は東南アジア、特に中国が主な市場。基本的な品種は国内 4 品種であり、3～4 年間かけてモデルチェンジを行う。保守すべきエレベータが 11.6 万台あり、国内では約 3000 人が整備や保守・サービスに携わっている。国内 1 工場、2 事業所、海外 2 工場（中国）、国内の支社 10 拠点。

### 2. マネジメントシステムの特徴

第一の特徴は、Green of Product, Green of Process, Green Management の 3 つの委員会を核に事業経営と一体となった目標・方策の展開を行っていることである。環境ビジョン 2050 “昇降機業界におけるエコ・リーディングカンパニーの地位確立”のもと、領域毎の 3 ヶ年計画を策定している。また、これを受けた全社および事業所（本社・工場・支社）の年度推進計画においては、目標を達成するための具体的な施策を設定するとともに、進捗管理のための管理項目・管理水準を明確にしている。また、年度末には、事業所毎にレビューを行い、その結果を受けて全社のレビューを実施している。結果として、例えば、製品系では、“No.1 eco ターゲット”を設定し、達成した製品を Excellent ECP（東芝グループ内規：環境調和型製品）として認定を受ける取り組みが着実に進んでいる。

第二の特徴は、リスクマップや環境側面の分析に基づいて推進アイテムを抽出し、事業所毎の推進計画に活かす仕組みである。各事業所では、現地・現物に基づきながら投入・活動・排出×化学物質・省資源等のマトリックスを用いて環境側面を洗い出し、法令要求事項との対応を整理すると共に、目標・施策としてカバーするもの、運用管理（手順）でカバーするもの、教育・訓練でカバーするものなどに分けている。

第三の特徴は、社員の環境意識高揚のための工夫を行っていることである。eco スタイルリーダー（環境関連資格保有者・eco 検定合格者）を計画的に育成するとともに、これらの人が中核となって国内・海外の事業所のボランティア活動・社会貢献活動を“バトン”のようにつないでいく“環境活動のバトン活動”を実施している。

### 3. 成果

2011 年～2015 年の 5 年間で、製品系では環境効率 1.51 万 ton 向上、使用時の CO2 3.55 万 ton 削減、省資源化 2.16 万 ton の改善を達成している。また、事業系ではエネルギー起源 CO2 排出量原単位 3.8 ton-CO2/億円削減、廃棄物総発生量原単位 3.1 ton/億円削減、水受入量原単位 29m3/億円削減、化学物質取扱原単位 0.04ton/億円削減を達成している。さらに、2015 年現在の eco 検定合格者は累計 204 名となり、国内・海外の 266 事業所に及ぶ環境活動のバトン活動を成功させている。

以上より、東芝エレベータ株式会社の活動は、事業の特性に応じたマネジメントシステムを構築・運用することで着実な成果をあげた事例として高く評価できる。